

令和4年度第2回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和4年11月30日（水） 午後2時00分～午後3時20分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（8名）

高 橋 潔（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安 成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

松 本 浩 二（総務部 契約監理課 課長補佐）

蒔 田 宏 之（総務部 契約監理課 課長補佐兼契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（9名）

津 吉 歌奈子（総務部 グリーン資産創造課 主幹）

西 脇 聖 二（総務部 グリーン資産創造課 資産マネジメント係）

小 林 信 幸（都市整備部 土木課 課長）

橋 田 竜 一（都市整備部 土木課 建設係）

山 下 範 昭（都市整備部 次長兼都市管理課 課長）

水 谷 晴 也（都市整備部 都市管理課 課長補佐兼住宅管理係長）

濱 口 隆 史（都市整備部 都市管理課 住宅管理係）

城 田 一（上下水道部 水道課 課長）

関 塚 佳 生（上下水道部 水道課 課長補佐兼水道係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

令和4年度第2回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日は、ご多忙の中、ご出席賜り、誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。

最初に総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

皆様、改めましてこんにちは、総務部長の高橋でございます。

本日はお忙しい中、入札監視委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
早いもので、明日から12月ということで何かとあわただしい時期になってまいりました。季節も進んで、今日を境に明日から急に寒くなって、冬らしい天気になるという予報も出ておりますので、寒暖の差が激しいので、お体には十分気を付けていただきたいと思います。

前回の委員会の際、委員長さんから「次回11月の開催時にはマスクが外せていると良いですね。」というお話があったかと思いますが、残念ながら前回の時には第6波が収まりつつある中で、第7波で感染者が多数出て、未だに日本ではマスクが外せない状況になっています。

今話題のサッカーワールドカップを見ている、カタールでは誰もマスクをしていないし、外国人の入国規制もないということも耳にします。1日も早く日本でもマスクをしなくて良い生活ができることを待ち望んでおります。

この会議も定期的に開催させていただいて、入札制度の公平性、透明性を担保していくために、みなさまから貴重なご意見をお伺いして、定期的に私共の事務の方も見直しを図って、制度の維持に努めて参りたいと思います。本日ご出席の皆様には忌憚のないご意見を聞かせていただいて、この委員会が有意義に進むことを願っておりますので、本日の議事の方もよろしくお願いしたいと思います。

本当に簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議事につきまして、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長から、ご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

年に3回ということで、こちらにお邪魔するたび、季節が変わっている状況でございます。
入札ということに関しまして、様々な問題がある中、テレビドラマでそういったことをテーマにしたものを放送しておりましたので、興味深く見ておりましたが、やはり談合の問題など難しい。また、新聞でもオリンピック関係でにぎわっている問題もありますが、桑名市では今のところそのような問題がないのは幸いなことだと思っております。この入札監視委員会が公平な競争につながる位置づけのものになればと思っております。皆様、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に

議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否について検討させていただきたいと思います。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは早速審議に入りたいと思います。

議事(1)「入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局の松本です。よろしくお願いいたします。着座にてご説明させていただきます。

お手元の資料により説明させていただきます。

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について、資料の2ページから5ページをご覧ください。①指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります令和4年4月から令和4年8月の5ヶ月の間に指名停止を講じました件数は9件となっております。

なお、最初の2件は、同一案件で5者を対象としたものです。この内、本市が独自で指名停止を講じました2件について、説明をさせていただきます。

3ページ一番右をご覧ください。令和4年5月18日、当市発注の「量水器(新品・修理・バーター)」の入札を実施した結果、愛知時計電機株式会社名古屋支店が、最低制限価格にて落札したにもかかわらず、錯誤により入札価格を過少に記載したとして、契約締結を辞退しました。

このことは桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2第5号の不正又は不誠実な行為に該当するとして2ヶ月の指名停止を講じました。

次に4ページの最初の欄になります。

株式会社ウエスト電力は、令和3年10月1日から令和4年9月30日までを供給期間とする、合計64施設における電力供給契約について、市に対し、電力小売事業を廃止する旨の通知をし、業務を履行することができないことが明らかとなった。このことから、市は契約解除を行った。

このことは、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第1第4号の契約違反に該当するとして2ヶ月の指名停止を講じました。

残りの7件につきましては、三重県が講じました指名停止措置に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたものでございます。

次に、②談合情報の状況でございますが、対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用していただきますようお願いいたします。

続きまして、議事（２）「抽出事案の審議について」の項目に移りたいと思います。

審議に先立ちまして抽出案件５件について説明を得るため入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する。〕

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、担当課ごとに入れ替えて審議を行いますので、ご了承願います。

それでは、関係者の方々の出席を求めます。

〔関係職員の入室〕

審議にあたり、今回の５件の抽出理由について、小寺委員から説明いたします。

（２）抽出事案の審議について

【小寺委員】

西森忠市営住宅 225 号室退去修繕につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、落札率が高いことと、応札業者の数が少ないこと。

馬道歩道橋点検計画策定業務委託（ＪＲ軌道部）につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、応札業者の数が１者と少ないこと。

配水管設計業務委託（額田地区）につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、応札業者の数が多く、21 者同額であること。

大山田西小学校トイレ改修工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、落札率が高いことと、発注金額が高額であること。契約番号 869 の大山田西小学校トイレ改修工事監理業務委託との関連を教えてください。

大山田西小学校トイレ改修工事監理業務委託につきましては、随意契約で、契約番号 720 の大山田西小学校トイレ改修工事との関連を教えてください。

以上の理由により抽出いたしました。

抽出事案 １ 西森忠市営住宅 225 号室退去修繕

【委員長】

それでは、第１案件「西森忠市営住宅 225 号室退去修繕」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【都市管理課】

都市整備部都市管理課長の山下でございます。よろしくお願いします。着座にて説明させていただきます。お手元の概要書に沿ってご説明させていただきます。

工事名は西森忠市営住宅 225 号室退去修繕でございます。履行場所は桑名市森忠 527 番地 4 地内でございます。

履行期間は令和 4 年 5 月 31 日から令和 4 年 7 月 29 日、予算額は 5,863 万円です。こちらは年間の施設修繕料として、市営住宅の各部屋の修繕や退去修繕を賄っております。設計額は 116 万 8,200 円となります。

工事概要は西森忠市営住宅 225 号室の退去に伴う床面積 56.3 m²の部屋の改修工事でございます。

主な内容は、玄関・廊下、洗面所、浴室、便所、台所・食堂、就寝室 3 室、玄関扉鍵取替、塗装、内装改修、給排水設備、電気設備等の改修及び外部物置の扉鍵取替でございます。

工事概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料 11 ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建築工事業の許可業者であること、所在地は、市内までとし、経審点数は 629 点以下、但し一般許可業者に限り 630 点以上も可。発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、経審点数 629 点以下で完成工事高要件を満たさない場合、経審点数 630 点以上で完成工事高要件により 250 万円以上の工事にも参加できない場合、に該当する市内業者のみ平成 19 年度以降、官公庁が発注した案件で建築一式工事の施工実績を有することとしています。

技術者要件は、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、12 ページをご覧ください。

令和 4 年 5 月 18 日に開札を行いましたところ、1 者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、三重同愛建設協同組合を落札候補者としました。その後、入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 106 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等はございませんか。

【小寺委員】

1 者しか応札がない案件で、入札前に今回の落札者から見積を徴取して設計額を算出したという経緯はありましたか。

【都市管理課】

事前に 1 者からということはありません。

本工事は、国の統一基準である公共建築工事積算基準をはじめとする積算基準類に準じて最

新の建築コスト情報を基に設計を行っております。その結果、1者に事前をお願いしたということはありません。

【小寺委員】

今回、他にも資料をご提示いただいたのですが、同様の市営住宅の退去修繕工事が8件あり、他の案件に関しては、3者から4者の応札があり、この案件のみ1者しか応札がなかったので、考えられる原因と今後の対策を教えてくださいと思います。

【都市管理課】

小規模な工事で、設計金額が少額であったことや、発注時期についても他の案件との兼ね合いもあったかと思います。

対応策としては、規模を大きくするために他の複数物件の退去修繕と合わせて発注することで、工事規模及び設計金額がある程度の規模になるように対応をしているところです。

【委員長】

市営住宅の退去による修繕ということですが、アパートを退去した後に修繕を施されるというのはかなりみておまして、それからすると1件の退去修繕にしてはかなり金額が高いように感じます。今、民法上の問題もあり、退去修繕のどこまでを大家が持って、どこまでを借受人が負担するのかという問題もあると思いますが、この金額になった理由はあるのでしょうか。

【都市管理課】

今回の物件は平成7年から令和元年まで24年間居住しておまして、かなり傷みが発生していたものと思います。退去する時は、居住期間が短い場合は50万円未満の場合もありますが、居住期間が長い場合については100万円を超えることもあります。住んでいただく方が気持ちよく住んでいただけるように修繕するようにしています。

【委員長】

ありがとうございました。他に質問ご意見ございませんか。

ないようでしたら、特に問題ないようですのでこの案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

抽出事案 2 馬道歩道橋点検計画策定業務委託（JR軌道部）

【委員長】

それでは、次に第2案件「馬道歩道橋点検計画策定業務委託（JR軌道部）」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【土木課】

土木課の小林でございます。よろしくお願いいたします。13ページの概要書をご覧ください。

件名は、馬道歩道橋点検計画策定業務委託（JR軌道部）、履行場所は、桑名市馬道1丁目地内他で、次14ページの位置図に示した中央の○印の箇所でございます。この馬道歩道橋は近鉄益生駅の北側に位置し、近鉄線とJR関西線を跨ぐ歩道橋でございます。履行期間は、令和4年

9月13日から令和5年1月20日まで、予算額は170万円、設計額は、166万7,600円でございます。

本業務の概要は、馬道歩道橋のうちJR軌道部における点検方法の検討を行い、点検計画の策定を行うものであります。

業務内容は、計画準備、現地踏査、点検方法検討及び関係機関協議資料作成、打合せ協議のであり、今後の橋梁寿命化を計画していく上で、鉄道事業者と協議を重ねて、点検計画を作成する業務内容でございます。

概要の説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局より、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の16ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、建設コンサルタント登録規定による 鋼構造及びコンクリート部門の登録業者であること、所在地要件は、県外までとし、技術者要件として管理技術者及び照査技術者の配置を求め、同種業務履行実績は平成19年度以降、官公庁が発注した案件で、東海旅客鉄道株式会社の路線を跨ぐ跨線橋の点検業務の履行実績を有することし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、17ページをご覧ください。

令和4年8月31日に開札を行いましたところ、1者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社を落札候補者とし、その後、入札参加資格を審査した結果、適格であったため当該業者を落札者と決定し、税抜き143万円で契約を締結しました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【小寺委員】

今回JRの線路を跨ぐ工事ということで、県外まで広げていると思いますが、結果として1者しか応札されなかったというところで、他に応札される予定はありましたか。

【土木課】

今回、JRに関係する業務でございますが、この鉄道事業者の登録をしている業者で業務を行わなければなりませんので、今回は5者ございますので、その中で競争入札をさせていただきます。

【小寺委員】

今回はJRに関係する特殊な業務ということで、このような案件は、地方自治法167条の2項第2号の随意契約で競争入札に適さない場合に該当するという印象を受けました。基本的には一般競争入札が良いのですが、こういった場合は随意契約でも良かったのではないかと、という感想を持ちました。

【土木課】

随意契約というご提案もいただきましたが、現在、入札参加可能な業者が5者ありますし、昨年度は2者の応札がありましたので、今後も一般競争入札で発注していきたいと思っています。

【副委員長】

業務の詳細な内容を教えてください。

【土木課】

業務内容につきまして、来年度に当歩道橋の点検を予定しておりまして、その点検にあたって、事前にJRと協議をする必要があります。夜間の点検作業になり、線路の閉鎖や電気の停止などの協議を踏まえまして、どのような手法で実施していくのかという計画を策定する業務です。

【委員長】

点検をするための計画を作る前段階の調整業務ということでしょうか。

【土木課】

今回の点検計画策定業務というのは、この業務で鉄道事業者と点検をどのようにするかを決めて、それに基づいて計画をこの業務で策定します。その後、点検という流れになります。

【委員長】

15 ページの断面図をみると、JRも近鉄も下を通っていますよね。入札参加可能業者はJRの指定する業者と近鉄の指定する業者ということになるのですか。

【土木課】

近鉄に登録している業者は1者で、今回はJRに登録している業者になります。近鉄の登録業者は1者になり、JRに登録している業者とは異なりますので、同時発注はできません。

【委員長】

ありがとうございました。他にご意見、ご質問等いかがでしょうか。

他にご意見ご質問、いかがでしょうか。ないようでしたら、この案件についても特に問題ないということでよろしいでしょうか。なければ問題なしと致します。

抽出事案 3 配水管設計業務委託（額田地区）

【委員長】

それでは次に第3案件「配水管設計業務委託（額田地区）」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【水道課】

水道課の城田でございます申し上げます。よろしくお願いいたします。

資料18ページの概要書をご覧ください。

件名は、配水管設計業務委託（額田地区）、履行場所は、桑名市大字額田地内、履行期間は、

令和4年6月6日から令和4年9月30日まででございます。予算額は500万円、設計額は494万2,300円でございます。

今年度に額田地区で配水管の布設替工事を予定しているため、配水管設計業務を実施するものです。概要は以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について、ご説明いたします。

資料の20ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、上水道及び工業用水道の建設コンサルタント登録業者であること、所在地要件は県内までとし、技術者要件は監理技術者及び照査技術者、共に技術士、技術管理者又はRCCMいずれかの資格を有する者の配置を求めています。また、同種業務履行実績として平成19年度以降、官公庁の発注案件で配水管詳細設計業務の実績を求めて、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、21ページから22ページをご覧ください。

令和4年5月24日に開札を行いましたところ、23者から応札があり、1者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で、21者が同額入札のため、くじ引きにより環境設計株式会社三重南事務所を落札候補とし、その後、入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き370万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【小寺委員】

工事の場合は、同じ設計ソフトを使用して積算すれば、多数の業者が同額で入札することがあると思いますが、設計業務委託においても、今回21者同額になった考えられる原因を教えてください。

【水道課】

今回、県内で入札に参加可能業者が35者で、通常ですと3月中の契約とするのですが、発注が6月ということで、おそらく管理技術者と照査技術者に余裕があるということで、応札者が多いのではないかと。同額については、歩掛で人数を出しているもので、歩掛をみると設計業務は同額になる業者が多いと思います。

【小寺委員】

多数の業者がソフトを使って同じ金額で入札するということであれば、方法や価格が決まっているパッケージのようなものならば、設計業務を委託する必要があったかどうか。

【水道課】

今後工事がありますので、設計業務を委託して、積算をして、工事価格を算出するというのが基本になっておりますので、今回もそのようにしました。

【委員長】

どうしても、型が決まったものだ、と、積算ソフトで出すとこのような結果になるという、多数の業者が同額で、くじ引きをせざるを得ない、という結果になる。談合防止の観点から行けば、くじ引きは公平であるのですが、企業努力を引き出していこうと思えば、くじで当たったから仕事ができる、外れたから仕事なくて困る、となると業者の側からすれば、安定経営に繋がらないのかと思います。設計業務はこれ以上どうしようもないのかもしれませんが。総合評価による入札というのがあります。企業の状況を点数化して受注者を決定するので、くじ引きにはならない。中型の規模の工事であっても、金額だけによるものではなく、総合評価に似たような方式で、障害者雇用の状況なども含めた、会社を良くしていくようなインセンティブを付けるなど、総合評価の簡易版のようなものでできれば、中規模の業者の経営努力につながるのではないかと思います。

もちろん新しい仕組みを作ることは大変ですし、審査する時間等もかかると思います。しかし、多数の業者によるくじ引きにならない、経営努力につながるような方法があればいいと思います。

【副委員長】

地域要件を市内業者や準市内業者までにしたらどうですか。

【水道課】

市内業者2者なので、競争性が保たれません。県内業者までとしますと35者ありますので、県内業者までとしました。

【委員長】

他にご意見ご質問などよろしいでしょうか。

では、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。では、問題なしとします。

抽出事案 4 大山田西小学校トイレ改修工事

【委員長】

それでは、次に第4案件「大山田西小学校トイレ改修工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【グリーン資産創造課】

グリーン資産創造課の津吉と申します。よろしくお願いいたします。

お手元の概要書に沿って説明いたします。

件名は、大山田西小学校トイレ改修工事、履行場所は、桑名市野田二丁目8番地地内、履行期間は、令和4年6月28日から令和4年9月14日まで、予算額5,530万6,000円、設計額5,466万1,200円でございます。

工事概要といたしましては、鉄筋コンクリート造3階建ての校舎一棟と屋内運動場において、児童用男女トイレ10箇所、多目的トイレ1箇所、教職員トイレ1箇所、給食室調理師用トイレ1箇所、洋式化を目的とした大小便器約50個の取り換え工事であり、トイレ

ブース等の内装改修、コンクリートはつりを含む床改修、便器以外の給排水衛生設備の老朽化による取替や付帯する電気設備工事一式等になります。また、学校の夏休み期間を利用した工事となっております。

工事の概要は以上です。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の 25 ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。入札参加資格要件は、建築工事業の許可業者であること、所在地は、市内業者までとし、経審点数は 550 点以上、発注業種の完成工事高は予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は平成 19 年度以降、官公庁が発注した案件で建築一式工事の施工実績を有することとしています。技術者要件としては、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、26 ページをご覧ください。

令和 4 年 6 月 15 日に開札を行いましたところ、3 者から応札があり、その内、最低制限価格を下回った 2 者が失格となり、残りの 1 者である株式会社サトー工業が最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、当該業者を落札候補者としました。その後、事後審査を行った結果、適格であったため当該業者を落札業者に決定し、税抜き 4,950 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【小寺委員】

本件はすごく高額な工事だと思うのですが、一般競争入札を行ったにもかかわらず、3 者からしか応札がなかったということは、何か理由があったのでしょうか。

【グリーン資産創造課】

近年の 5,000 万円以上の建築工事の応札者数と比較しましても特に目立って少ないという認識はございません。同規模の工事ですと、3 者から 4 者の応札がよく見受けられます。

【小寺委員】

変動型最低制限価格制度を採用しているということで、応札者が少ないと、それが機能していないというか、そういったところで入札制度に反映させることができなかったではないかなと感じたということで、高額な工事については、今回、地域要件で市内業者に限定しているので、準市内業者や県内業者の参加を認めていくと、もう少し競争性が高くなるのではないかと感じました。

【委員長】

今の観点についてはいかがでしょうか。

市内業者だけではなく、地域要件を拡大することについてはいかがでしょうか。

【事務局】

応札業者数は3者から4者というところですが、基本的には地域要件を設けて市内業者への優先発注という前提がありまして、今回の入札参加資格要件で入札参加可能業者が何者あるかは、今はお答えできないですけれども、ある程度の業者数はありまして、結果3者から4者だったということです、これ以上の業者数は確実にあります。競争性が保てれば、原則、市内業者への優先発注となります。

【委員長】

ありがとうございます。

【副委員長】

規則として最低制限価格を下回ると失格となるわけですが、最低制限価格をほんの少し下回っただけで失格となり、落札業者はかなり高い金額で落札できてしまう。制度的に難しいと思いますが、下回ると変動に全く影響がないので、もったいない感じがします。

【事務局】

変動型最低制限価格制度を採用しているわけですが、少なくとも入札参加者数が8者以上でないと、変動せずに基準価格が最低制限価格となりますので、制度上失格となります。

【事務局】

委員の方からご指摘いただいて、応札者数が少ないので制度が機能していないという観点からしても、準市内業者まで枠を広げ参加者数を増やす、それによって変動型が機能するように、委員のご意見も踏まえまして、今後検討していかなければならないかなと感じましたので、そのあたりをできる範囲で取り入れていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【副委員長】

3者からの応札があるので桑名市としては市内業者の方が税金的にはメリットがあるのかなとは思いますが、3者でも変動するようにするのか、1万円下回って失格で、落札業者が高額となっていますので、なにかうまくできる方法があればいいのかなと思いましたので、準市内まで広げて業者を増やして変動型が機能するというのもあるかもしれません、検討してください。

【委員長】

ありがとうございました。

なかなか難しいとは思いますが、こういう数字を見てしまうともったいないという印象があります。

【小寺委員】

変動型ですと下から6者の平均の値を最低制限価格とするとなっていたと思うのですが、これだと機能しないということと、3者のうち2者が最低制限価格を下回っているので、それが一般的な価格なのかなと思ってしまいます。

【委員長】

ありがとうございます。

なかなか難しい問題もあるかとは思いますが。

他にご意見、ご質問よろしいでしょうか。

この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。では問題なしとします。

抽出事案 5 大山田西小学校トイレ改修工事監理業務委託

【委員長】

それでは次に第5案件「大山田西小学校トイレ改修工事監理業務委託」について発注担当課から委託概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後事務局から見積経過について説明をお願いいたします。

【グリーン資産創造課】

大山田西小学校トイレ改修工事監理業務委託についてご説明申し上げます。

履行場所は、桑名市野田二丁目8番地地内、履行期間は、令和4年6月28日から令和4年9月27日までとなっております。予算額は、税込121万9,000円、設計額は、税込120万7,800円です。

業務委託の概要につきましては、先ほど説明しましたトイレの監理委託業務となっております。

随意契約理由は、前年度の実施設計委託を株式会社エクシアが受注しており、桑名随意契約ガイドライン第4条第1項第2号カの「実施設計委託後の業務監理委託を、実施設計施行業者に行わせるとき。」に該当しますことから、当該業者と随意契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果について説明いたします。

資料の30ページをご覧ください。

令和2年6月22日に見積り合わせを行い、指名業者の株式会社エクシアから見積を徴しましたところ、予定価格の範囲以内でしたので、税抜き100万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【小寺委員】

トイレの改修工事については、一般的な建築物の改修工事になると思うのですが、それ自体に監理業務委託が必要であったのかということです。

【グリーン資産創造課】

今回の工事につきましては、床のコンクリートのはつり等の改修工事を中心に、かなり大規模な校舎の改修を行っておりまして、建築基準法方法で定められています鉄筋の配筋状況ですとか、コンクリートの強度の状況等を随時確認しながら適合な状態に保つということの監理も必要となってきますことから、監理委託業務の契約を締結しております。

【小寺委員】

理由のところに、設計者の意図を迅速にかつ正確に反映する必要があるということと、夏休み期間ということもあり短期間で実施しなければならないというのは理解するのですが、本来設計業務を委託して、工法や工程が明らかな設計書が作成されていれば、このような監理委託業務は不要になったのではないかなと感じたのですが、現場で設計者の指示がないと工事ができないような設計書を昨年の時点で受け取っているというか、それを成果品として受け取っていたというふうに感じてしまいました。

【グリーン資産創造課】

改修工事ということもありまして、前年度の実地調査において目視では確認できない事象等、壁を壊してみたり、床をはつてみたりしないと判明しないことも多々ありますので、期間が夏休み期間と限られていることもあり、何かあった場合に、早急に工法や改修方法を検討しながら実施していく必要があります。職員だけでは対応できない部分もありますので、監理委託業務の契約を締結しております。

【小寺委員】

現場において設計者の確認や指示がないと工事ができない設計書で、先ほどの第4案件の入札が行われたということにもなるのかなと思ってしまいますのだけれども、そうすると正確な工事費の積算というのが行われない状況で、先ほどの5,000万円を超える工事の入札が行われたのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

【グリーン資産創造課】

今回のトイレ改修だけではないのですが、やはり改修の設計と工事になりますと、特に工事ですが、着手してみないと確認できない部分が、設計の段階で残ってしまうということがあります。それは承知しているのだけれども、もちろんそれを最小限にするような設計には努めています。ただし、やはり学校や各施設は老朽化しており、着手してみないと判明しない部分や当初の設計から途中の改修で変更となっている部分もありますので、工事とあわせて監理業務を委託しています。

【小寺委員】

他の工事においても、監理業務を委託するのが一般的なのでしょうか。

【グリーン資産創造課】

金額にもよりますが、100万円や200万円程度で工事個所が1箇所の場合は職員で対応している場合もありますが、夏休み期間という限られた期間ということと他工事との調整、やはり春に発注して夏に工事していることが多いので、職員で対応できる範囲が限られてきますので、監理業務を委託しています。

【委員長】

設計業務を株式会社エクシアが落札して、そして随意契約で監理業務を委託するということですが、そもそも監理業務も同時に発注できないものですか。

【グリーン資産創造課】

一般的に設計委託の前年度に実施してしまして、年度が替わりますことと、工事が実際に実施されるかどうか不確定な部分もありますので、工事の予算を要求するときにあわせて監理業

務委託の予算を計上している状況です。

【事務局】

市役所は単年度予算ですので、当該年度に設計して、翌年度に施工・監理を行います。単年度予算ですので、設計と監理を同時に予算措置していないというところに原因があります。

【委員長】

設計だけはするが、施工については予算措置がなされて初めて発注できるということですか。

【事務局】

計画としては、翌年度に施工と監理を行うというスケジュールで進めていますが、設計段階では確実ではないので、施工の予算を要求するときにあわせて監理業務の予算も要求することとなります。

【小寺委員】

5,000万円の工事を請け負う業者が工期に間に合わせて施工することが、外部からの監理がなければできないということですか。

【グリーン資産創造課】

現場だけではなく、工事を発注しますと、工事に係る書類の確認業務等、これぐらいの規模の工事ですと膨大な書類が出てきますので、それらの書類の確認の時間等も必要となります。

【小寺委員】

一括して発注できれば、税金の節約になるのではないかなと思いました。

【委員長】

事情がある中でベストな手法で実施されているということで理解いたします。

他にご意見、ご質問いかがでしょうか。では、この案件についても問題なしとします。以上を持ちまして、抽出案件の審議を終了いたします。

次回の審議案件の抽出は、順番により私が抽出いたします。

(3) その他

【委員長】

それでは(3)「その他」ですが委員の皆様何かございますか。

事務局から何かありますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉会

【委員長】

ありがとうございました。それでは令和4年度第2回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は後日、事務局でまとめさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。